

術前・術後に休薬が望ましい経口ホルモン剤一覧

院内採用薬 (2021年7月現在)						
分類	一般名	商品名		術前休薬期間の目安	術後再開の目安	
骨粗鬆症治療剤 (SERM)	ラロキシフェン塩酸塩	ラロキシフェン塩酸塩	エビスタ	3日間	完全に歩行可能になるまでは投与を再開しないこと	
	バゼドキシフェン酢酸塩	ビビアント(後発:バゼドキシフェン)	Viviant			
卵胞ホルモン製剤	結合型エストロゲン	プレマリン		4週間 (治療上の有益性が危険性を上回る場合は投与可)	規定なし (長期臥床状態の患者は再開不可)	
卵胞ホルモン・ 黄体ホルモン配合剤 (LEP、低用量ピル等)	ノルゲストレル/ エチニルエストラジオール	プラノバール		血栓リスクに応じて4週間	規定なし	
	ノルエチステロン/ エチニルエストラジオール	シンフェーズ ルナベル(後発:フリウエル)				
	レボノルゲストレル/ エチニルエストラジオール	アンジュ	トリキュラー	ラベルフィーユ	4週間	2週間 (産後4週以内の患者、長期間 安静状態の患者は再開不可)
		21錠	21錠	21錠		
		28錠	28錠	28錠		
	ジェミーナ					
	21錠	28錠				
デゾゲストレル/ エチニルエストラジオール	マーベロン	ファボワール				
21錠	21錠					
28錠	28錠					
ドロスピレノン/ エチニルエストラジオール ベータデクス	ヤーズ	ヤーズ フレックス				
21錠						
28錠						
黄体ホルモン製剤	メドロキシプロゲステロン	ヒスロンH(後発:メドロキシプロゲステロン酢酸エステル200mg)		なし	症例に応じて 1週間~1カ月	

参考資料:①添付文書・インタビューフォーム、メーカー回答②肺血栓症および深部静脈血栓症の診断、治療、予防に関するガイドライン(2017年改訂版)

③肺血栓症/深部静脈血栓症(静脈血栓塞栓症)予防ガイドライン④周術期管理チームテキスト第3版

※経皮ホルモン剤は、経口ほど凝固系に変化を与えないためリスト未掲載
医療安全対策マニュアル

2018年 2月作成
2019年10月改定
2021年 7月改定